

2020年5月25日

地域包括ケア病棟協会
会員施設の長 各位

地域包括ケア病棟協会会長
仲井 培雄

**新型コロナウイルス感染症患者に対する医療の実態把握や
治療効果の検討についてのご協力のお願い**

—新型コロナウイルス患者の診断と治療に携わっている医療機関の皆様へ—

拝啓

時下、新型コロナウイルス感染症に対応する全国の医療機関の医療従事者の皆様におかれましては、大変なご努力をされておられることと存じます。

今般、新型コロナウイルス感染症患者の臨床経過や医療の実態把握、また、医薬品の評価のための各種情報の集積は、現在の公衆衛生上、緊急かつ大きな課題になっていると考えております。

そこで、日本医師会総合政策研究機構を中心として、全国の医療機関から電子カルテ由来の診療情報を中心とした各種情報を中長期にわたり収集することで、新型コロナウイルス感染症患者の臨床経過や医療の実態把握、医薬品の評価のための研究が実施されることになりました。研究体制は以下の通りです。

研究代表者

高橋泰(国際医療福祉大学・教授)

研究分担者

江口成美(日本医師会総合政策研究機構・専門部長)

研究協力者

澤倫太郎(日本医師会総合政策研究機構・研究部長)

川上浩司(京都大学大学院医学研究科・教授、健康・医療・教育情報評価推進機構・常務理事)

木村文(リアルワールドデータ株式会社・解析企画部長医師)

本研究においては、医療現場における情報抽出や転記など、とくに医師の負担を避けるために、電子カルテ由来の匿名化診療情報データベースの構築と運用に実績のある、一般社団法人健康・医療・教育情報評価推進機構（HCEI; 樋之津史郎代表理事）およびリアルワールドデータ株式会社（RWD 社; 尾板靖子代表取締役）に各医療機関との調整および作業を依頼し、また、医療機関との連携においては、一般社団法人介護・医療見える化・効率化協会（VOEM; 高橋泰代表理事）にも協力を要請しております。

とくに新型コロナウイルス患者の診断と治療に携わっている医療機関の開設者および事務部門長におかれましては、本件の重要性へのご理解をいただきまして、情報収集作業へのご協力をお願いいたします。後日 RWD 社が貴院に電話やメール等により連絡する予定です。ご協力頂ける施設におかれましては、RWD 社が直接訪問して、もしくは Zoom 等による遠隔操作にて作業支援を行うと伺っています。

なお、本研究は、診療情報データベースの活用にあたり、改正個人情報保護法第 76 条、文部科学省および厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、日本医師会倫理審査委員会の承認（現在審査中）を得て行われるものであり、現場負担の軽減と迅速な対応も鑑みまして、各医療機関での個別の倫理審査委員会の実施や、患者に対する個別の同意取得は必ずしも必要ではありません。また、研究結果につきましては、ご協力をいただいた各医療機関に対して、地域包括ケア病棟協会、および日本医師会総合政策研究機構から情報提供をさせていただくようにいたします。

本件にご理解を賜りましてご協力頂けますよう、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

敬具